

題材名 「学校に現れたもう一つの世界」

(第1学年 感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現・鑑賞)



■本事例のポイント

- 生徒が考えを共有し合いながら活動できる場を設け、学習調整を促し、深い学びの実現を目指した。
- 作品や参考資料等をクラウド上で共有し、生徒が必要なタイミングで、自由に閲覧できるようにした。

■題材の目標

身近な風景や場所などを見つめ、感じ取ったことや考えたことなどを基に、主題を生み出し、意図に応じて工夫して表すとともに、造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を広げる。

■題材の指導計画（8.0時間）

1. 題材と出合う（0.3時間）

- 空想画の作品を鑑賞し、主題と表現の特性や効果について理解する。

2. 場所の撮影+構想（1.7時間）

- 身近な場所から表現したい主題を生み出し、創造的な構成を考え構想を練る。

【活動①】 場所を撮影しながら考える。

【活動②】 ワークシートで考えを整理する。

3. 制作（5.0時間）

- アクリル絵の具で、工夫して絵に表す。

4. 鑑賞+振り返り（1.0時間）

- 完成した作品を互いに鑑賞し合う。

■題材の概要

これは校内の写真です。
この場所が、こうなったら
面白いというアイデアは、
何か思い付きますか。



外にも椅子が並んでいると、
面白いかもしれません。

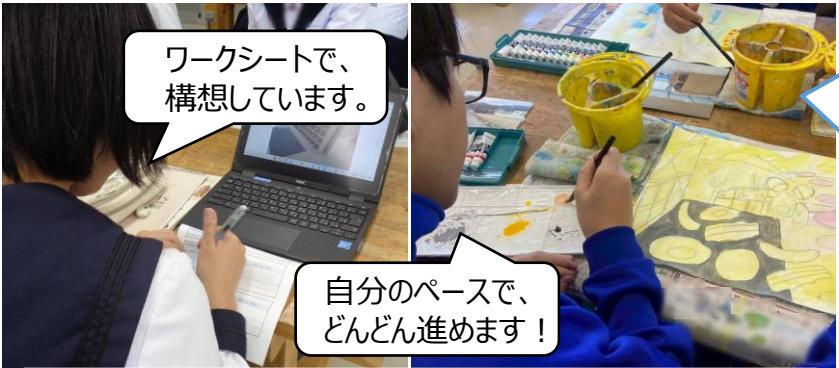


面白いですね。先生は、
幻想的な感じがしたの
で、こう描いてみました。

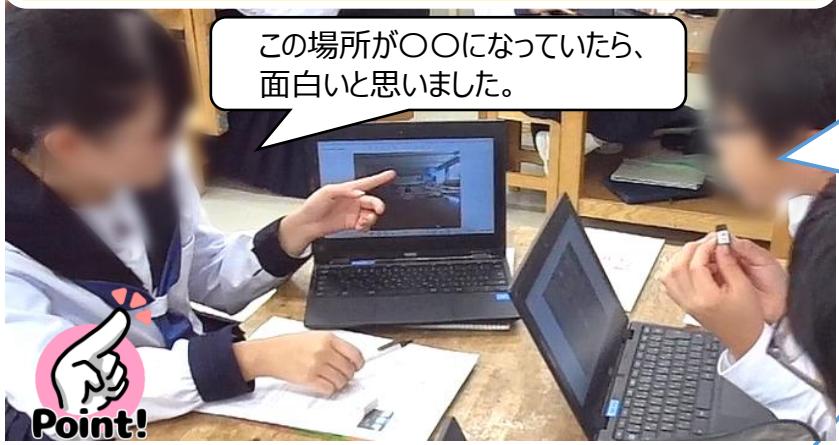
きれいですね！自分だったら、どこを
どんな風に変えてみようかな。

じゃあ、校内の気になる場所を1人1台端末で
撮影に行ってみましょう！⇒空想画の制作へ

■学習調整をしている子供の姿



子供が学び方を選択・決定する場面の設定



■「きっかけリンク」で共有した作品（一部）



■指導と評価の工夫

① 生徒が自走できる環境づくり

- * 題材の流れをスライドで示して見通しをもたせることで、それが立てた計画で、学習を進めることができるようとする。
- * 生徒に活動を委ねても、主題などの大切なポイントを意識できるよう、構想シートや振り返りシートを用意する。生徒の記述にコメントを返して、指導と評価に生かす。

② 自然と友人とつながる学習環境の設定

- * 班で向き合う形を基本として、互いの作品について鑑賞し合ったり、話し合ったりしやすくする。
- * 学習上の必要感に応じて、生徒が自由に離席し、友人の活動を見に行くことができる学習環境を設定する。

③ 参考資料へのリンクを共有

- * 指導者の作品やシュルレアリスムの画家が描いた作品、遠近法について紹介する資料などを、クラウド上で「きっかけリンク」として共有して、自由に見るようにする。

■成果（○）と課題（▲）

○題材の目標や活動の大まかな流れ、参考資料をクラウド上で共有したことでの、生徒は必要なタイミングで見ることができ、学習調整につなげることができた。

▲主題を生み出した生徒のアイデアを、グループ内のみで紹介した。クラス全体に紹介することで、より深い学びにつなげることができたと考える。